

平成29年度帯広盲学校保護者アンケート結果に基づく課題と対応について

北海道帯広盲学校


12月に実施しました「平成29年度保護者アンケート」は、保護者数13家庭に対して、8家庭から提出していただきました。そのうち、意見等を記述していただいたのは、4家庭でした。


提出率は、昨年度とほぼ同等にとどまっております。次年度は全ての保護者から提出していただけるよう努めていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

提出していただいた評価は、過去2年分の評価と比較できるようにしました。各項目における点数は、表記の説明と合わせてご覧ください。また、全項目の評価は、昨年度3.33点に対して、今年度は「2.90」点と下がっております。学校として、昨年度から明確な改善が見られず、保護者からのご期待に添えていなかったと反省しております。

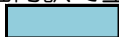
記述意見に対する学校の対応については、学校評議員からもご意見いただきながら以下の通りまとめております。


<表記の説明> (1) 項目番号に塗りつぶしがあるもの

 全項目平均(2.90点)に対して、0.20以上評価が低い項目

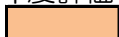
 全項目平均(2.90点)に対して、0.20以上評価が高い項目

(2) 評価内訳で塗りつぶしがあるもの

 D評価(1点)がある項目

 未記入(無回答)がある項目

(3) 29年度評価で塗りつぶしがあるもの

 28年度の評価よりも0.20以上評価が下がっている項目

A 学校全体

No	評価指標	A	B	C	D	未	29	28	27
1	学校は、全体懇談や学校だよりなどを通じて、学校の教育方針や考え方などを伝えてくれている。	2	3	2	1	0	2.8	3.4	2.8
2	学校が発信する情報(学校だより、学級だより、校内掲示、ホームページ等)から、学習の様子や学校の様子が十分伝わっている。	2	3	2	1	0	2.8	3.3	3.2
3	授業参観や懇談の回数・内容などは、現状でよいと思う。	3	2	1	1	1	3.0	3.4	3.2
4	学校で行われている行事の種類や内容は、現状でよいと思う。	3	3	1	1	0	3.0	3.3	3.3
5	教室や施設・設備などの清掃や安全が行き届いており、子どもたちの学習に適した環境になっている。	2	2	2	2	0	2.5	3.3	3.3
6	学校給食は、楽しく食べられる工夫がされており、食育への配慮や保護者への情報提供もなされている。	6	0	1	1	0	3.4	3.3	3.4
7	学校は、PTA活動に協力して取り組んでくれている。	3	1	3	1	0	2.8	3.6	2.9
8	事務では、就学奨励費や事務手続きなどについて、わかりやすく説明してくれている。	4	3	0	1	0	3.3	3.3	2.9
9	学校の教職員は、来校時や電話などの際の言葉遣いや応対も適切で明るく親切に対応してくれている。	3	2	1	2	0	2.8	3.4	3.1
10	学校の教職員は、出した意見や相談、質問などに誠意を持って対応してくれている。	4	1	1	1	1	3.1	3.4	2.8

「学校からの説明や情報発信」「学習環境の整備」「PTA活動への協力」「保護者への親切丁寧な対応」について課題があるとご指摘いただいております。

<記述評価と対応について>

① 学校の教育方針は、あまりよくわかりません。

→ 年度当初の始業式やPTA総会の場で学校の方針や重点などを説明するとともに、学校からの便りや学校ホームページの充実を図っていきます。

- ② 参観した際、教室内は清掃が行き届いている感じはしませんでした。  
 → ホームルーム教室だけでなく、特別教室などにおいても清潔で安全な学習環境となるよう、清掃と点検に努めていきます。また、清掃活動を日課に入れるなど、子どもの実態と合わせながら検討していきます。
- ③ 行事は縮小されて、簡素化されていると思います。  
 → 子どもの在籍数が減少し、行事の規模自体が小さくなっております。その中においても、子ども達の主体性や社会性が育めるよう内容の工夫を図っていきます。

## B 学習指導・学級

No	評価指標	A	B	C	D	未	29	28	27
11	個別の指導計画の作成に当たっては、十分な共通理解や説明がなされ、保護者の要望なども取り入れて指導してくれている。	4	1	2	1	0	3.0	3.4	3.2
12	先生方は、子どもの力に合わせて指導内容や方法、教材などを工夫し、力を伸ばすよう熱心に指導してくれている。	4	1	0	3	0	2.8	3.7	3.3
13	学級懇談では、学習の様子などを丁寧に伝えてくれており、保護者の話もよく聞いてくれる。	4	2	1	1	0	3.1	3.8	3.5
14	通知票の評価や記述は分かりやすく、評価の内容や指導の状況についても詳しく説明してくれる。	4	1	2	1	0	3.0	3.6	3.2
15	卒業後の進路について、見通しが持てるような説明や情報提供、具体的な支援などがなされている。	4	1	2	1	0	3.0	3.2	2.8
16	この学校は、視覚に障害のある子どもを通わせたいと思える学校だと思う。	4	1	2	1	0	3.0	3.4	2.8

全項目において、昨年度よりも評価が下がっておりますが、おおむね3点の平均的な評価となっております。「子どもの能力に合わせた指導内容と手立て」については、プラス評価とマイナス評価がはっきりと分かれています。

<記述評価と対応について>

- ④ 子どもの実態については話されますが、方針やめあてはよくわかりません。見とりについての手立てや今後の方向性もないと感じます。  
 → 学力だけでなく、将来必要な力について懇談などを通して相談させていただき、指導の計画と評価を明確にし、具体的な手立てや方向性を示すことができるように努めていきます。

## C 寄宿舎

No	評価指標	A	B	C	D	未	29	28	27
17	寄宿舎では、異なる障害の子どもたちのことをよく理解し、適切な対応をしようと努力してくれている。	1	2	2	0	0	2.8	3.3	2.9
18	寄宿舎では、望ましい生活習慣や日常生活に必要な力が身につくように工夫して指導してくれている。	1	3	1	0	0	3.0	3.2	3.3
19	寄宿舎では、指導の内容について保護者の意見や要望も取り入れてくれている。	1	2	2	0	0	2.8	2.8	3.1
20	寄宿舎では、子どもの様子や指導の様子などを詳しく伝えてくれている。	1	2	2	0	0	2.8	3.3	3.1
21	寄宿舎では、子どもたちが楽しく過ごせるよう遊びや行事などを工夫してくれている。	1	1	2	1	0	2.4	3.2	3.3
22	寄宿舎では、学級担任などと連携を密にして一貫した指導をしてくれている。	2	1	1	0	1	3.3	3.3	3.1
23	寄宿舎内や舎室は、衛生状態も良く、施設・設備等も含めて子どもたちが生活しやすい環境になっている。	0	3	1	1	0	2.4	2.8	2.9

ほとんどの項目で昨年度よりも大きく評価が下がっております。

- ⑤ 余暇の過ごし方で、ほとんどオモチャを使って遊んでいると聞いたので、もっと様々な遊びを提供してほしい。  
→ 子どもに合った余暇の充実と、自立に向けた生活技能の向上を図るよう指導に努めていきます。
- ⑥ 寄宿舍の先生方に活気がほしい。  
→ 子ども達と一緒に成長を実感し、喜び合えるよう充実した寄宿舍指導を心掛けるよう努めていきます。
- ⑦ 寄宿舍職員を増やしてほしい。(目が行き届いていない)  
→ 寄宿舍指導員の数は、北海道の基準よりも多い配置となっております。交代勤務の中でしっかりと引き継ぎをし、子ども達が安全に生活できるように努めていきます。
- ⑧ 舎での活動内容を以前のように戻してほしい。  
→ 具体的な記述がなく、明確な回答になりませんが、生活技能の向上と基本的な生活習慣の確立、余暇活動・行事が充実し、子ども達が成長できるように努めていきたいと考えます。
- ⑨ 在舎する子ども達の年齢が上がってきたこともあり、行事等が縮小され、残念だという声を子どもから聞いています。  
→ 学齢・学部が上がるに連れて、進学に向けた学習時間や自立に向けた学習に時間を費やすことが多くなります。その中で、子ども達が主体的に行事に参加し、充実感を味わえることができるよう指導に努めていきたいと考えます。
- ⑩ 入口あたりに、くもの巣などがあつたりするので、まめにとってあげてほしいです。  
→ 室内だけでなく、屋外についても気を配り、環境整備・美化に努めていきたいと考えます。

#### <その他の意見・要望>

- ⑪ 玄関の衛生状態が良くない。(くもの巣)
- ⑫ 毎年、冬の除雪が行き届いていないので、用務員さんだけでなく、先生方も協力して行うようにしてほしい。  
→ (⑪と⑫を合わせて)上記の⑩と同様、職員一人一人が学習環境・生活環境に気を配り、整備・美化に努めていきます。
- ⑬ 一部教員に挨拶しない先生がいるので、徹底してもらいたい。  
→ 職員全員が、保護者・来校者に挨拶するよう心掛けてまいります。
- ⑭ チームを組んで指導していただいていると思いますが、担任に伝えたことが学校に届いているのかな？と思うことがあります。そのときの担任がどのように考えられるかだけでなく、学校としてどのように考えるのかを伝えてほしい。  
→ 学級懇談での話題で必要なことは、学部や管理職へ報告することになっておりますが、至らない部分があったと思います。学校組織の中での連携体制について、改善できるよう検討していきます。
- ⑮ 寄宿舍の職員の確保をしてほしいです。先生にかかる負担は大きいので、安全面等からもぜひお願いします。  
→ 上記⑦と同様、本校は、ほかの盲学校及び特別支援学校よりも、子どもの数に対する寄宿舍指導員の数は多く配置されております。子ども達や保護者の皆さまが、安心して寄宿舍生活を送ることができるように努めていきます。